

この試合からしばらくは
『長良川球技メドウ』がホームになります。



today's guest

東京ヴェルディ

2009 J2第7位
J2通算対戦成績 :0勝 2分 1敗
2009成績

- 第1節 09/05/02 岐阜0-0(東京V)
- 第3節 09/08/02 東京V3-0(岐阜)
- 第4節 09/10/07 岐阜1-1(東京V)

2010J2 順位表 第0節

(※消化試合が1少ない)
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の
戦績(岐阜から見て)

1	柏	14p	+5	7	2
2	千葉	13p	+8	13	5
3	大分	12p	+4	12	8 A
*4	徳島	12p	+3	9	6
5	熊本	11p	+2	6	4 A
6	福岡	10p	+7	12	5 A
*7	鳥栖	10p	+2	6	4
8	岐阜	09p	+2	8	6 --- ---
9	横浜FC	09p	0	8	8
10	栃木	08p	+2	7	5
11	札幌	08p	-3	5	8 H
*12	愛媛	07p	0	3	3
*13	甲府	07p	-2	4	6 H
14	水戸	06p	-1	3	4
*15	富山	06p	-6	5	11 H
16	岡山	04p	-4	2	6
17	北九州	04p	-7	2	9
*18	東京V	01p	-5	2	7
19	草津	01p	-7	2	9

次回 HomeGame

第1節
ザスパ草津戦

5/2(日) 16:00
@長良川球技メドウ

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

F C岐阜大好き通信(岐大通)
4/18号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく & 吉田鎔造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、
よろしくお願致します。

さて、今日東京V戦からは長良川球技メドウでの試合開催。東海リーグからJFLへの昇格の舞台となったある意味聖地ともいえる場所。ピッチでの選手の声や息遣い、迫力が間近に感じられるスタジアム。長良川競技場が国体に向けての改修工事のため、Jリーグから特別に開催を許可されたというおそらく今年しか見ることのできない場所。通常のスタジアムのような太鼓などの鳴り物が使用不可能のためサポーター1人1人の声と手拍子が選手の後押しに重要となってきます。3600人という限られたキャパシティのこの空間に溢れんばかりの人が詰め掛けるのを願ってやまない。(岐阜の誇り)

運営ボランティア「グリーンズ」参加者からお知らせします。今日の試合から「長良川球技メドウ」でホーム試合が開催されます。慣れないスタジアムでの開催となりますが、我々グリーンズも精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。さてこの「長良川球技メドウ」はJFL時代までホーム試合を開催した実績が有りますし、所謂「球技専用スタジアム」なので選手のプレーが非常に近く感じられる点から言っても、個人的には好きなスタジアムの一つです。ただ「収容人数が少ない」という大きな弱点があります。仮設のピッチサイド席も含めて入場者可能数は「3600人」との事ですが、これは席に一つの空きも無いように座って頂いて初めて「3600人」になります。一人でも多くの来場者に着席して頂ける為に、極力「荷物を席に置かない」ように皆さんのご協力をお願いします。(シュウ)

いよいよ、今節からメドウでの開催。とてもドキドキしている。東海二部そして一部の頃。ホンダロックとのJFL入れ替え戦。そして、低迷の始まりとなった佐川印刷戦。つい、3~4年前のことなのに、なぜだかはるか昔のことのようにも思えてしまう。

先日、メドウのピッチを外から眺める機会があった。真新しいのはゴール裏の、ピッチサイドと呼ばれる仮設スタンドのみ。あとは、今までと変わりがなく、「本当に、ココでJリーグの試合をやるのかな?」と、まだ、どこか信じられないような気がした。なにしろ、どこもかしこもJリーグを開催する基準を満たしていない。合格点がもらえるのは、ピッチのサイズだけじゃないかな?芝生にしてもその時点では、整備が行き届いているとは言いがたかった(苦笑)。これはもう、リーグが譲歩した、とかいうレベルではなく、完全に「目をつぶってくれた」としか言いようがない。それでも、県内でやることに意義がある。たとえ、国立霞ヶ丘だろうと、ましてや瑞穂なんかで開催するのは意味がない。地域に根ざし、地元が一体となって盛り上がる。それこそが「Jリーグ百年構想」なんじゃないかと思ってみる。本当にリーグには感謝の気持ちでいっぱいだ。

メドウにやってくる対戦相手のサポーターには申し訳ない、という思いも少なからずある。もしかしたら、失笑されたり揶揄されたりするかもしれない。それでも、ボクらのクラブは、メドウを通過点としてJの舞台にたどりついた。いろんな意味で、少し急ぎすぎたきらいもあるだろう。だからこそ、今がいいチャンス。もう一度、原点に立ち戻ろう。「メドウ回帰」が合言葉。「メドウ」とは牧草地の意だとか。どこかで、「去年が『長良川劇場』なら、今年は『長良川牧場』か?」という自虐的なジョークも見聞きした。しかし、それもいんじゃないかな?「牧草地」あるいは「牧場」とは、生命を育む場所のこと他にない。まだまだ未熟なクラブ、選手、そして我々サポーター。このメドウから、共に大きく育っていかよう。さて、この記念すべきメドウでの開幕戦。対戦するのは東京ヴェルディ。ご存知Jリーグの初代チャンピオンだ。Jリーグが開幕したのは、ついこの間のような気もするけど、ヴェルディが優勝した頃には影も形もなかったFC岐阜が、同じJのクラブとして公式に対戦する。こうしてみると、できたてはやはやだと思ってたJリーグも、それなりの時間と歴史を刻んできたんだな、とつくづく思う。もうじき、20年になるんだもん。FC岐阜もすでにその歴史の一部になってはいるけれど、これから未来永劫、歴史にその名を刻むためにも、今季を全うしなきゃならない。できれば、満員札止めのスタンドで。チケットがプラチナ・ペーパーとなるように、アツい試合と勝利の歓喜を呼び起こそう!

この一年が過ぎて、長良川競技場の改修が終われば、もう二度とメドウでJリーグを開催することはないだろう。国際規格への改修を済ませた競技場には、当然大きな工事はないだろうし、あったとしても、その時には浅中を使用することになるだろう。つまり、今年こそが千載一遇の機会。メドウでFC岐阜を応援できるのは、今年の試合を観戦する者だけに与えられた特典だ。「いや~、あの時は大変だったよ。」なんて思い出話も、今年メドウに来なきゃできない。なんかワクワクしてきたゾ(笑)(ぐん、)

『メドウ(Meadow)』を辞書で調べると「牧草地、草地」とある。ぼくは『メドウ』と呼ばれるところを2つしか知らない。全米オープンテニスの会場「フラッシング・メドウ」と、ここ「長良川球技メドウ」だ。普通なら「球技場」で済ませちゃうところを、いったい誰が『メドウ』なんてシャレた名前にしたのだろう。そのセンスに、まず敬意を。

アーカイブ好きなもので、調べてみました。最近ではインターネットで大抵のことはわかります(でも、辛論とかをネット情報に全面的に頼るのはやめましょう)。「メドウ」の最大収容は3600人。ここまでキャパが小さい会場でJ公式戦が行われたことはないだろう...と思ってたら、ありました(笑)。Jの21年目、1999年3月14日の甲府x大宮は「萑崎中央公園陸上競技場」で行われています。最大収容人数4000人。この年、甲府は他に仙台戦・FC東京戦・川崎戦の計4試合を萑崎中央で開催している。しかし、なんてたって『メドウ』は「球技場」だ。その臨場感とは「陸上競技場」の比ではない。そして、同じ「球技場」でも、仙台や神戸フクアリ、博多森や鳥栖とは比べモノにならない「近さ」。観客の皆さんには、まずその「近さ」を味わってほしい。そして、近いがゆえに「試合会場」そのものを一緒に作って行くことを愉しんでください。おそらく、今年限りです。(吉田鎔造)

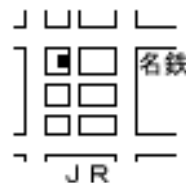
ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅
から徒歩3分。
休:日曜日
(今日はお休みです)



本庄工業株式会社
http://www.honj-woodream.com/

連敗ストップ、以上の意味。 岐阜 3-0札幌【第05節】

F C 岐阜は長良川で札幌と戦い3対0で勝利。西川優大選手の2得点と嶋田正吾選手の1得点で完勝。倉田監督のサッカーがようやく浸透してきたか？。サポーターが一丸となってF C 岐阜を盛り上げよう！。F C 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

徐々に気持ちいい勝利でした。監督の戦略が徐々に浸透してきている様子がよく解ります。以前と異なるポジションで奮闘する選手の皆さんの必死さが伝わってきます。チーム内での競争も激しさを増すと思えますがそれが勝利に繋がる事を期待しています。（ミスター珍道）

2押谷の前節での退場による出場停止を受けて、「トップはどのようなだろう？」と注目せずにはいられなかったこの一戦。18佐藤とコンビを組むことになったのは14嶋田正吾だった。試合前の段階で、この「並び」だけを連想すればとても新鮮な組み合わせ。もちろん嶋田は得意意識の高い選手だということはおわかっていて。さて、どうなるか？試合が始まると全貌が見えてきた。前線中央で佐藤が札幌ディフェンス陣と激しく競り合いシュートのチャンスを伺う。嶋田は佐藤の周りをぐるぐる回りいろいろところでチャンスを作り出す。まるで噴射ひとつでいろいろ軌道をまわることができる人工衛星のようだ。加えてそこに、同じようにシュート意識の高い菅と西川が攻撃に加わる。嶋田の動きでこの二人も活性化できている。札幌は全体的には岐阜の攻撃を押さえつけているものの、すこしずつ捕まえきれなくなっていく。結局この圧力を活かして後半札幌から3得点、守っては完封と試合前の心配事などなかったかのような完勝だった。今日の東京ヴェルディ戦、この勢いそのままに3連勝と行きたいですね。（ST57）

昨季のJ2で、個人的にはウチと一番相性が悪いと思っていた相手が札幌だ。札幌の上位チームよりも「勝てる気がしない」内容と結果で3連敗。今季、「天敵」ダニエルソンが移籍したとはいえ、3連敗中のチーム状況で対戦するのは少し嫌な気分だった。さて、スタメン。前節熊本戦の退場であった押谷の代わりは、なんと今までM起用の嶋田。しかも、ウチのキーマンであるはずの橋本も、ベンチ入りすらしていない。怪我でもしたのか？この布陣で札幌相手に闘えるのか？と不安がよぎる。

ところが、だ。試合開始から3分で和範がロングシュートを放ち、その後も選手達は積極的な攻撃をしかける。序盤は若干危ういシーンもあったが、徐々に試合は岐阜のペースになり、札幌G高原（岐阜工出身）に弾かれてしまうものの、何度か大きなチャンスを迎えつつ前半が終了。「今日は何かが違う...でも何が？」と考えてみると、やはり、良くも悪くも「マタドール」橋本の不在だと僕は感じた。普段はボールの起点となる橋本がいないことで、ボールを奪うと（橋本に一旦預けることができないうので）シンプルにボールを前に運んでゆくしかないし、敵にとっても、最もマークすべきキーマンがいないので対応が後手に回っている感じだった。敵が放り込んでくるボールには吉本が絶好調のヘディングで跳ね返すし、他の選手も強い勝利への執念で走り回っていた。

「今日はいける！」そう思いつつ、後半に突入。後半も岐阜のペースで試合は動き、5分には永芳のFKに西川がヘッド、高原が掻き出すがゴールインが認められ、先制点！その後、我慢の時間帯を迎えるが、8分に永芳のOKでこぼれボールに嶋田がミドルシュート一閃、追加点！直前にゴン中山が交替出場するが、岐阜の優位は変わらない。そのまま時間が過ぎてゆき...ロスタイム、遂にきた「凱旋行進曲（アイダ）」。これを札幌相手に歌えるとは...と若干感慨に耽っていると、西川が裏に抜け出してダメ押しゴール！試合終了までアイダを歌っていたかったな...と賢沢で罰当たりな想いが頭をよぎったのは、僕だけだったろうか（苦笑）。そして、3連敗と苦しんだ後に札幌に完勝できて腫が潤んでしまったのは、僕だけだったろうか（照）。ともあれ、その選手起用には恐れ入りました、倉田監督。「何か（新しいチームの形が）生まれた様な気がします」と、試合後のインタビューも高調だった。（ささたく）

スコアこそ3-0という結果にはなったが、もし札幌に先制されていたとしたら、まったく真逆のスコアともなっていたかもしれないゲームだった。ただ、選手たちも試合を重ねることによって、倉田監督のやりたいサッカーの理解度が上がってきたため比較的集中して守ることができていたように感じた。あと個人的には後半内村が交代してくれて助かったかな、と。昨年愛媛在籍時に彼のスピードにやられた部分があったりしたのを覚えていたためか、彼が下がってから札幌の攻撃にあまりスピード感がなくなったようにも感じた。それにしても、橋本のメンバー落ちには少々驚いた。しかしながら試合中には、その橋本と出場停止の押谷の不在を感じさせないほどの全員の前線張り。お互いが日々の練習の切磋琢磨によって、チーム全体の力が上がってきていると言ったら褒めすぎだろうか（笑）。（岐阜の誇り）

ついに、というか、ようやく札幌から初勝利！それも3-0というスコアは、昨季の初対戦・札幌ウェムでやられたのとまったく同じ。とりあえず、借りてをひとつ返したわけだ。

それでも、前半の札幌・藤田のシュートがポストに当たってなかったら？同じく前半の宮沢の、昨季のダニエルソンのようなミドルが決まっていたら？勝敗がどうなっていたかはわからない。いずれにしても、改修前のラストの長良川競技場を勝利で飾って、本当によかった。試験運用中のオーロラビジョンも上々で、動画や公開間近の映画の感想を述べるキャプテンと秀人の映像などが流され、以前までの電光掲示板との違いに思わず感動してしまった者も数知れず（笑）こうなると、改修後が楽しみでしかたないのだけど、このオーロラビジョンはリアルタイムの映像は流せるのだろうか？ゲームのリプレイや勝利インタビューはどうなんだろう？あ～、早く改修が終わらないかな？（ぐん、）

サッカーの勝敗はゴール数で決まる。 福岡 0-2岐阜【第06節】

F C 岐阜はアウェイで福岡と戦い2対0で勝利。永芳選手の今季初ゴールと佐藤洸一選手のゴールで理想的な勝利。倉田監督のサッカーがようやく浸透してきたか？。サポーターが一丸となってF C 岐阜を盛り上げよう！。F C 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

長野へ転勤になってもF C 岐阜一筋で応援しています。アウェイの福岡戦は、岐阜に帰っていたので、カフェF C 岐阜にて観戦しました。カフェF C 岐阜は二回目ですが、熱心なサポーターさんが集まって一体感があっていいですね。試合は、前半はF C 岐阜がペースをつかんで、積極的なゴールを狙う姿勢がはっきり出ていましたね。観戦して久しぶりに気持ちいい感じでした。甲府戦や熊本戦の、プラスレーションのたまる試合とはまるで別のチームのようでしたね。前半に永芳さんのナイスシュートで先制。いま、調子がいいみたいですね。ここのところ、スタメンが少しずつ変わってるけど、しばらくはスタメンで使ってもらえそうですね。

後半は福岡にサイドから攻めこまれたりでかなり押されたけど、守りきって無失点でしたね。札幌戦が決してまぐれではないということを見事に証明してくれたことが嬉しかったです。この試合をスタジアムで観戦していたサポーターさんがうらやましかった。あの中で万歳四唱したかったです。ゴールを狙う貪欲さは絶対に忘れないでこれからの試合に挑んでほしいです。今の戦いができれば、上位相手でも互角にいけるのでは、と思えますよ。またチャンスがあればスタジアムに足を運んで応援したいです。（たつぽん）

当日は岐阜カフェで観戦していました。好調な相手だったので失点を覚悟していましたが、結果は2-0の完封勝利！相手の決定力不足や審判に助けられた感もありましたが、決める時に決めて、後半の福岡の猛攻をよくしのいでくれたと思います。今の好調をこれからも維持してほしいです！（ブラウ@翠魂）

2戦連続の完封勝利！いや、実によく耐えた。前半終了直前とか、後半の押され続けたイヤな時間のアツい場面も、ギリギリこらえてくれた。優大がアソコで決めてたら、もっと楽に.....と思わないでもないが、タラレバだし、逆に福岡に決められてたかもいけないし（苦笑）それに、福岡はウチに対して、上から目線、というかナメてくれていたらしい。「岐阜に負けるワケがない。」と。レベスタでは、ウチの2勝1敗とこちらが優勢だったことを、どうやら選手もサボも忘れていたようだ。まあ、試合前までの福岡の好調さとウチの不調さを比べればやむをえないことなのかな？今回の結果で、レベスタでは3勝1敗となったけど、逆にウチのホームでは1分2敗。今度こそ、お返ししなきゃね？

それでも、追加点を取るまで、試合がどちらに転ぶか？は微妙なところ。だから、福岡が後半、田中そして永里を立て続けに替えてくれた時は「篠田さん、ありがと〜」と正直思った。それくらい、前半から二人のアタックが怖くて怖くて。特に、前半終了直前ペナルティエリアの中で、永里が和範を交わした場面なんかは「やられた...」と観念したもんなあ.....。恭平に感謝！でも、改めて見返してみたら、福岡はその二人だけじゃなく、ボランチと左SBもずいぶん攻撃に絡んで来てたんだね。全部、田中と永里だと思ってたよ。前節までの福岡のイメージが残っていたのかな？その分、というわけでもないだろうけど、2トップというか、トップとトップ下の関係の2人、高橋と大久保が目立ってなかったような気がする。その点、ウチはみんなが、キッチリやってくれた。今季のアウェイ九州でやらかしたような失点につながる軽いプレーはなかったし、危ない場面でもフォロワーができてた。その結果が完封勝利。マンオブザマッチ級は、永芳と洸一になるんだろうか。でも、自分としては秀人と正吾を挙げたい。守備のキーマンとして秀人はなにげに効いてたけど、後半の追加点のあと、ボールをカットしてPA右をドリブルで抜けてクロスを入れた場面。その後センターサークル付近でのボールカットから、優大にボール預けてリターンをもらい、ひとり交わして正吾パス入れた場面。サイドアタックじゃなくって中央突破。ウチの攻撃にバリエーションを付けてくれた。秀人の攻撃参加は、昨季水前寺でのゴールでもわかるように、確実に決定機を演出する。DFラインから一列前に上がったことで、もっと攻撃に絡むようになってほしいと切に願う。正吾には正直謝る。上手いやん（爆）。スピードはわかってたけど、テクニクもあるよ。ホントにセンスいいわ〜、って今さら？トップ下だけ脇だかわかんけど、福岡の守備陣がつかまえてくれたよ。開幕戦では、途中出場の流れを変える切り札だ、と思ったりもしたけど、やはり90分走りきるあのスタミナとともども、スタメンは外せない。次もヨロシクお願いします！

あと、得点や決定機には直接絡めなかったけど、両SBもそれなりに味を出していたように見えた。特に、ノガシユンがSBとして上げられるようになってきた.....、かな？まあ、クロスはアレだったが（爆）、開幕戦の頃と比べるとかなりできるようになってきたと思う。今後はクロス精度を上げてくれれば、そこそこイケる（笑）と思う。上げてくれたらイイな。トミーは、まだ去年のようなゴール前への飛び出しやクロスを見せてくれてないのが不満だけど（笑）、今は戦術遂行のためにゾーンというか守備ブロックに重点を置いているのかも。でも、福岡戦はけっこう高い位置まで上がってたんじゃないかな？実際、もっとやってくれなきゃ困る。できるはずだ。待ってるよ。

あ～、次の試合が待ち遠しい。ヴェルディ戦、まだ？（ぐん、）